

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、お客様、従業員、取引先、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、最上のエンタテインメント・コンテンツの創造・提供を通じ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元（必須記載）

当社は、お客様に最高の製品やサービスを提供する上で、社員が心身共に健康であること、またその増進を図ることが重要な経営課題の一つであると考えます。適切な健康管理や運動習慣の重要性を様々な施策実施を通じて社員に伝えます。また、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

（個別項目）

具体的には、社員の健康増進について、在宅勤務制度が定着する中、オンラインで専門のインストラクターによるストレッチプログラムや、ヨガ教室を実施するなど「自宅に居ながら取り組める運動支援策」を毎月行っています。また、歩数計測アプリを用いて、社員同士でチームを組んで、ゲーム性のある課題をクリアしながら目標歩数を目指すという、運動支援と同時に社内コミュニケーションの促進をも目的としたウォーキングイベントを、春・秋の年2回実施しています。あわせて健康増進に資する活動等に対しインセンティブを付与する仕組みを導入するなど、社員が主体性をもって取り組める様、持続的な支援を行います。

人材育成については、コンプライアンス研修として労働基準法、著作権法、資金決済法、景品表示法など、当社を取り巻く法規制を正しく理解し、日々の事業活動に反映しております。またグローバル人材育成の観点から、社内英会話教室の開催、オンライン英語学習の提供などを通じ、社員の外国語スキル習得を推進しております。加えて、最先端技術教育・社内開発ナレッジ勉強会を積極的に企画、実施しております。具体的には社員のリテラシーを高め、コンテンツ開発に活用することを目的として、情報交換会・社内セミナーの定期開催、イントラネットを活用した情報共有・自己啓発の促進などに取り組んでいます。また社内の実際のナレッジ等を部門・プロジェクト横断で共有する機会を多く設け、開発効率向上と高品質化を実現するとともに、在宅勤務下で不足しがちなコミュニケ

ーションについても活性化を図っています。さらに若手社員向けには専門講師を招いて基本スキル等を身に着ける各種研修も実施しております。

賃金決定については、スクウェア・エニックスの成長と社員満足度向上を基本コンセプトとした評価制度・報酬制度等を通じ、社員と会社間で相互コミットした期待役割に対し、実際になされた貢献を公正に評価し、処遇への確に反映します。もって社員一人ひとりの業績達成と自己成長を、更には当社の継続的成長を図ります。

2. 取引先への配慮（必須記載）

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【2024年1月30日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/49551-07-00-tokyo.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組（任意記載）

（1）株主様・投資家様との関わり

①企業統治の充実

当社グループは、法令・定款・社内規則に基づき、株主総会、取締役会および経営陣の間の明確な権限分配を行い、株主利益の満足と効率性を重視した企業経営を進めます。

②適切な会計処理・情報開示

我が国において公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて財務諸表を作成いたします。財務情報を始め、当社グループの経営に関わる重要な情報は、取引所のルールに則って、適時的確に開示いたします。さらに、それに基づき、株主・投資家のみなさまとの対話を積極的に進めます。

③株主還元の重視

株主のみなさまの当社に対するご支援にお応えするために、株主還元を重視いたします。剰余金の配当を中心に、当社の経営状況と市場環境に応じた適切な株主還元を進めてまいります。

（2）お客様との関わり

①最上のエンタテインメント

当社グループは、最上のエンタテインメント・コンテンツの創造・提供を通じて、お客様の期待に応え、さらにそれを超えるような体験を提供するべく努めてまいります。

②個人情報の尊重

当社グループは、お客様の個人情報を個別の商品・サービスの提供に必要な最小限の範囲で収集し、厳重に保管管理のうえ、お客様に予めご了解をいただいた目的でのみ使用いたします。

③満足度の向上

当社グループは、お客様に提供する商品・サービスの内容、品質、価格等を通じて、お客様の満足度が最大化するよう努めてまいります。また、お客様が当社グループの

商品・サービスをご購入されようとする際、納得のいくご判断ができるよう、適正な情報開示・表示を行います。

(3) 社会との関わり

① 知的財産権の尊重

当社グループは、知的財産権がコンテンツ創造企業の価値の源泉と考えます。そのため、第三者の知的財産権を尊重いたします。また、自らの知的財産権については、法律および契約により適切な保護を図ります。社員による創作・考案に対して、適切なインセンティブを提供することにより、知的財産の拡充に努めます。

② インサイダー取引の禁止

当社グループの社員および役員は、各国・地域の法令によりインサイダー取引とされるような上場株式の売買を行いません。このため、当社グループの未公表の重要事実及び当社グループが事業活動の過程で知得した他の上場会社の重要事実は、厳正に保管管理いたします。

③ 反社会的勢力との断絶

当社グループは、反社会的勢力及びその影響を受けている者とは一切関係を持たず、かつ取引をしません。これらの者からの不当な要求に当社グループが応じることはありません。

④ 持続的発展を通じた社会への貢献

当社グループは、適正な利益を確保しながら、企業体を持続的に成長・発展させることを目指します。これにより、商品・サービスの提供、株主還元、雇用、納税等の形で、地域社会および国際社会の安定と発展に積極的に貢献してまいり所存です。併せて、事業遂行に際し、エネルギーと資源の節約に努め、地球環境に対する負担を最小限に留めることを目指します。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和 6年 1月 30日

株式会社スクウェア・エニックス

法 人 名

代表取締役社長 桐生 隆司

役職・氏名（代表権を有する者）